

MITSUBISHI

気流Express

気流エクスプレスは、気流応用商品のさまざまな納入事例とご採用のポイントをご紹介します。“気流”の専門 (Expert) 誌 (Press) です。

vol.19

株式会社
松田平田設計様
エアースイングファン 31台



東京都港区に本社がある株式会社松田平田設計様は、創立75周年を迎えた2006年、本社3棟をリニューアルしました。スタッフが働く職場の環境整備を第一コンセプトに考え、広がりのある創造に適した空間を作り、配置される設備は機能面に加え、ビジュアル面も意識しています。常に新しいアイデアを世間に提案する設計事務所らしく、自社内の設計プランナーが納得できる職場空間を作り出しています。

エアースイングファンで

よどみ解消

ダクトレス換気

リニューアル対応



ここがポイント
設計者に伺いました!



株式会社松田平田設計 総合設計室 設備設計部 副主任 塩出 和人様

リニューアルのテーマを実現したのは  でした

- 採用のポイント**
- 給気の効果的な搬送
 - ダクトレス換気
 - 静音性

当社の創立75周年に当たる記念事業として、社屋をリニューアルしました。3棟が別々の時期に建てられ、機能のばらつきや設備の老朽化が見られました。リニューアルのテーマを「創造空間の環境整備」に絞り、エリアごとの機器制御性向上、新鮮空気を取り入れ、建物内のよどみ解消に取り組みました。また、“環境配慮”の一環として、リニューアル時に発生する廃棄物を削減すべく、ダクトレスで新鮮空気を隅々まで搬送できるエアースイングファンを採用しました。

“運転音が静か”なエアースイングファンは、設計事務所にぴったりでした。結果として事務所内にきちんと空気の流れができたことで、当初の目標としていた「給気搬送」「ダクトレス換気」「静音」の3点が見事にクリアできたと思います。

今後、担当する物件にも採用していきたいです。

エアースイングファンで居住環境改善



エアースイングファン

給気口

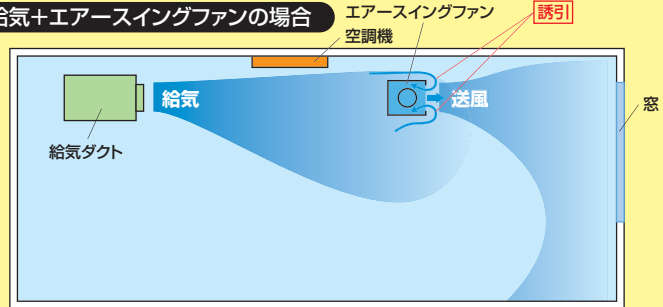
空調機

従来、事務所内の隅々まで新鮮空気が行き渡らなかったため「よどみ」が発生し、スタッフの中から不満が出ていました。エアースイングファンが新鮮空気を事務所の隅々まで運ぶので、「よどみ」が解消でき、事務所のどの位置でも均一な居住環境を実現することができました。

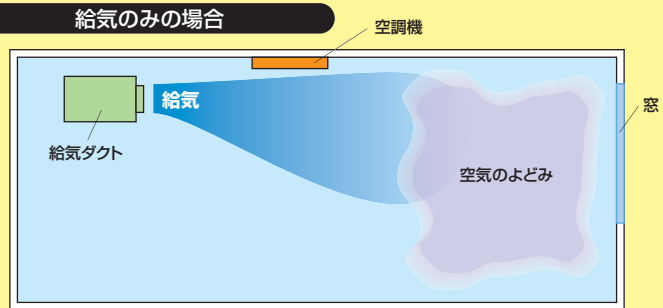
エアースイングファンの微妙な気流は、近くにいるスタッフに当たっても不快感を与えることなく、とても好評です。

※グリルは現地にて黒色塗装。工場出荷時は白色です。

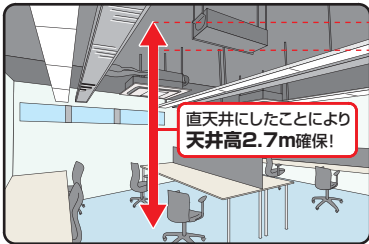
給気+エアースイングファンの場合



給気のみの場合

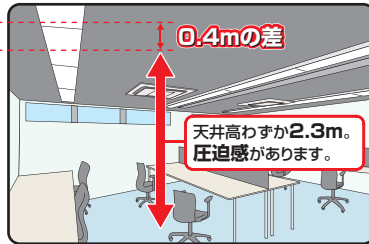


省施工でダクトレス換気実現



直天井にしたことにより
天井高2.7m確保!

ダクトレス空調(直天井)の場合



0.4mの差

天井高わずか2.3m。
圧迫感があります。

ダクト配管空調の場合(イメージ図)

リニューアル施工ということで、天井に梁や柱などの障害物がありました。エアースイングファンは設置場所を規制されることなく、簡単に設置することができました。なお、フロアをエリア毎に区切って、省施工かつ短期間で工事ができたので、工事期間中もスタッフの業務に支障をきたすことはありませんでした。

また、従来2.3mしかなかった天井高も、ダクトレス換気にして天井をすっきりさせることで直天井にすることができ、天井高を2.7mまで確保することができました。

機器配置図・風の流れ

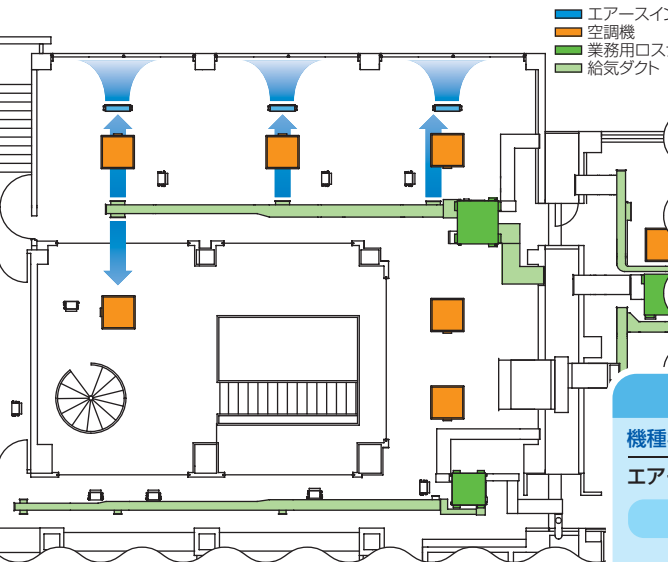
- 設置機種:AS-407SA×31台
- 制御:メインスイッチで1系統制御



スイッチ1台につき、1系統の制御をしています。



給気ダクト部分は縦格子でカバーしています。



天井の色と製品・配管の色を統一し、給気ダクトはカバーをしてきれいに隠れているため、天井がすっきりしています。

ご採用データ

機種名	台数
エアースイングファン: AS-407SA	31台

〈建物階数〉 8階建

